

大 学 史 研 究 通

第 86 号 2016 年 8 月 31 日 (水)

大学史研究会

第 86 号の内容 : 会員ニュース・第 39 回大学史研究セミナー開催のお知らせ・自由研究発表者募集・第 38 回大学史研究セミナー参加記・『大学史研究』編集委員会からのお知らせ・事務局からのお知らせ・退会者の報告・大学史研究会事務局員一覧

会員ニュース

会員訃報

梶 雅範 (東京工業大学) 会員

化学史家で東京工業大学教授の梶雅範会員が、7 月 18 日に逝去されました。2000 年に大学史研究会に入会されたのち、2007 年には東工大で大学史セミナーを開催していただきました。大学史セミナーに何度も参加していただき、その都度、的確な質問、コメントを報告者に投げかけておられた姿を思い出します。梶会員は、ご自身が世話人をされていた東工大の科学史・技術史ゼミ「火ゼミ」に、大学史研究会会員を発表に招かれることもありました。

英語による学長式辞の報道で有名になったように、東工大は最近大幅な大学改革を実施しました。その大学改革議論に梶会員は積極的にかかわっておられたようです。新カリキュラムに「教養特論：大学史」という科目が設けられました。この科目の設置には、大学史研究会に参加され、教養教育における大学史の必要性を感じた梶先生によるところが大きいのではないかと感じております。事務局代表として、また指導を受けた学生として心からご冥福をお祈りいたします。

(事務局代表：岡田大士)

<異動に伴う会員情報更新の届出をお願いいたします>

所属や住所等に変更のある会員は、事務局までご一報ください。ホームページ掲載の「事務局連絡先」フォーム、あるいは年会費払込票 (郵便口座) の「通信欄」を利用することも可能です。

(会員情報担当：浅沼薫奈)

第 39 回大学史研究セミナー開催のお知らせ

第 39 回セミナーを明治大学にて開催致します。今回のシンポジウムは「『大学史 (研究)』の様々な節目を迎えるにあたって：140 年・70 年・50 年・40 年」をテーマとし、荒井克弘先生 (独立行政法人大学入試センター教授)、館昭先生 (桜美林大学教授)、別府昭郎先生 (明治大学名誉教授) の 3 名のパネリストに御登壇いただきます。プログラムの詳細につきましては、改めてお知らせ致します。

期日：2016年11月5日（土）・6日（日）
会場：明治大学（駿河台キャンパス）
内容：シンポジウム、総会、懇親会（11月5日開催）
自由研究発表（11月6日開催）

シンポジウム：「『大学史（研究）』の様々な節目を迎えるにあたって：140年・70年・50年・40年」

パネリスト：荒井克弘（独立行政法人大学入試センター）
館昭（桜美林大学）
別府昭郎（明治大学）

司会：古屋野素材（明治大学）

第39回大学史研究セミナー自由研究発表者募集

第39回大学史研究セミナーでの自由研究発表者を募集いたします。発表時間は、発表件数にもよりますが、質疑応答を含めて1時間程度を予定しています。通常の学会よりも、じっくりと報告・議論できることが本会の自由研究発表の特徴です。発表を希望される方は、9月30日（金）までに、セミナー担当の井上（下記）まで、発表タイトルを添えてご連絡下さい。申込みの形式は問いません。奮ってお申し込み下さい。

〔自由研究発表申込・セミナー問い合わせ先〕
事務局セミナー担当：井上美香子
〒812-8581
福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学百年史編集室
TEL：092-642-7189
E-Mail：inoue.mikako.239@m.kyushu-u.ac.jp

（セミナー担当：井上美香子）

第38回大学史研究セミナー参加記

根岸昌（東京大学教育学研究科修了）

2015年11月21日（土）、22日（日）に、南山大学名古屋キャンパスで開催された大学史研究会第38回研究セミナーに参加しました。大学院で指導頂いている福留先生のご紹介により、今回が研究セミナーへの初参加となります。常日頃から大学史に興味を持ち研究に取り組んでいましたので、全国の方々の大学史研究の成果を伺えるのを楽しみに、初めて名古屋の地に足を踏み入れました。名古屋は整然とした街で、また南山大学のキャンパスはお洒落な雰囲気、街並みの中にあり、その雰囲気を十分に楽しみました。

大会初日は、「若手研究者の集い」、続いてシンポジウムでは中山茂先生を偲んで3名の方々による歴史的観点にたった議論がありました。二日目は、6名の自由研究発表がありました。自由研究発表は、1人につき50分もの発表時間があり、非常に充実したものとなっていました。したがって、全ての発表に関する感想を書くと、かなりの分量になってしまいますので、今回は「若手研究者の集い」を中心に、はじめて研究セミナーに参加する中で感じたことを報告します。

一日目の「若手研究者の集い」では、5名の若手研究者が各自の研究に関する発表を行いました。テーマとしては、戦前期日本における私立高等教育機関の教員給与・寄付金に着目し

た経営構造の日米比較研究、厚生補導の形成プロセス、イェールレポートによる教養教育に関する歴史的議論、近年の奨学金の動向、戦時下の大学での文化交流が取り上げられており、多様な観点からの研究の取り組みに大いに刺激を受けました。

二日目の福留先生の発表は、ハーバード大学の三学長の大学改革の特徴をアメリカ大学史の中で位置づけ、自由科目選択制度への取り組みを中心に論じられました。三学長の比較が分かりやすく、現代日本の大学カリキュラムの構成に通ずるものと学び直しました。

最後に、懇親会の時に私と興味関心が共通している研究者の方々を福留先生からご紹介頂き、その方々との科学史と大学史の話に花が咲きました。

今回の大学史研究セミナーは、故・中山茂先生の科学史・大学史のご功績について、様々な先生方の講演があり、その歴大な業績に大いに感銘を受けました。国家間の戦争、科学の発展、大学史という三者の大きな関係性の中で、改めて大学とは何かを考えさせられました。

お陰様で有意義な二日間を過ごすことができました。ありがとうございました。

『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

『大学史研究』編集委員会では、26号の編集を続けており、年内の刊行をめざしております。次号27号に投稿を希望される方は、事務局(daishi@home.nifty.jp)までお知らせください。

(紀要担当：岡田大士)

事務局からのお知らせ

今年の大学史研究セミナーは、久しぶりに明治大学・駿河台キャンパスで開催することになりました。開催校としてご準備いただく古屋野先生、どうぞよろしく申し上げます。自由研究の発表時間もありますので、積極的にご応募ください。

また、古屋野先生にお願いし、土曜の午前中に小教室を確保いたしました。若手セミナーの会場とする予定で、詳細が決まりましたら追ってお知らせいたします。

(事務局代表：岡田大士)

退会者の報告

2016年3月末をもって以下の方が退会されました。本会の活動にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

退会者：種田 明 会員

編集後記

梶先生ご逝去のお知らせを受け、あまりにも突然で驚いております。梶先生は、私が調査中である自然科学分野のロックフェラー・フェローに関して温かく的確なご助言をしてくださり、東工大での「火ゼミ」で発表の機会をくださいました。私のようなものにも分け隔てなく接してくださり、ありがたいばかりでした。梶先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(通信担当：五島敦子)

『大学史研究通信』第 86 号の編集は、事務局・五島敦子が担当いたしました。

連絡先：agoshima@nanzan-u.ac.jp

『大学史研究通信』第 87 号は、2016 年 12 月 31 日発行予定です。

大学史研究会事務局

<事務局連絡先>

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学法学部 研究室受付 岡田大士気付 大学史研究会

Tel&Fax: 042-674-3151 E-mail: daishi@home.nifty.jp

ホームページ <http://daigakushi.jp/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表 E メールアドレスまでお願い致します

E-mail: jshshe@daigakushi.jp

大学史研究会事務局員 (五十音順)

浅沼 薫奈 (大東文化大学)

井上 美香子 (九州大学百年史編集室)

岡田 大士 (中央大学)

五島 敦子 (南山大学短期大学部)

長谷部 圭彦 (早稲田大学)

深野 政之 (大阪府立大学)

山崎 慎一 (桜美林大学)

山本 尚史 (長崎女子短期大学)